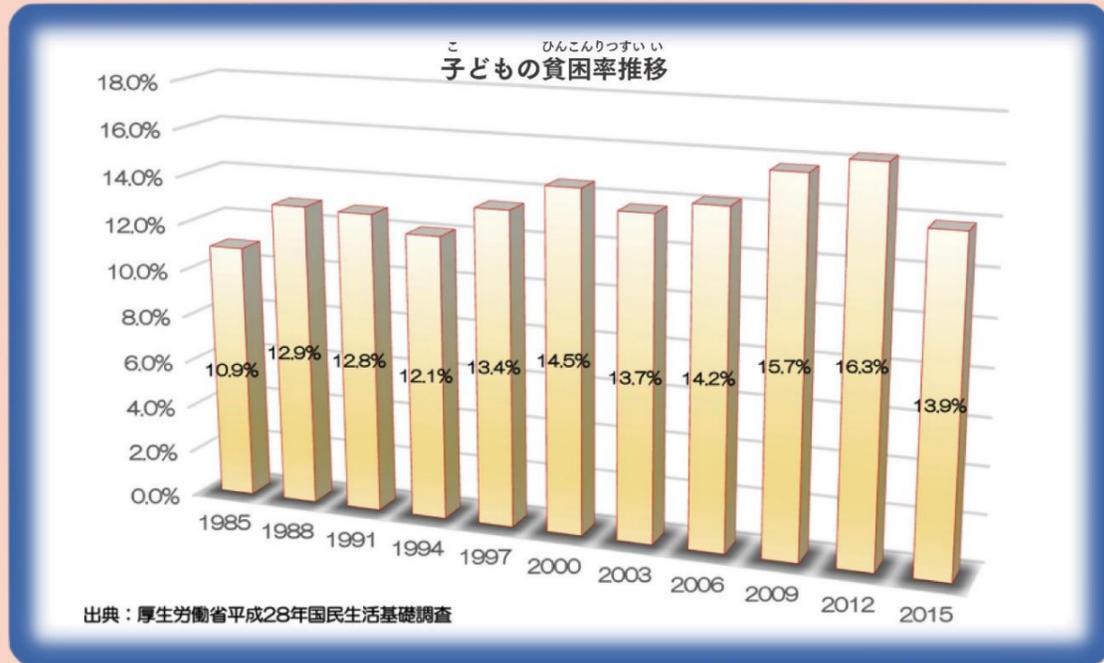
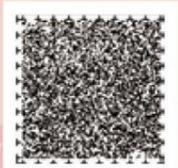


# 子どもの貧困

今、日本の子どもの7人に1人が貧困状態にあるといわれています。  
 貧困状態とは、その時代の社会において、多くの人が当たり前と思っているような生活を送ることができないことです。そうすると教育や体験の機会が制限され、地域や社会から孤立し、様々な面で不利な状況に置かれてしまいやすくなります。しかも、周りからはわかりにくく、住居や衣服のようすからだけでは、貧困に気づくのが難しいため、支援につながりにくいのが特徴です。



子どもの悩みに気づいたり、連絡や相談を受けたりしたら、すぐに支援につなげることが大事です。



# 子どもへの虐待

保護者による子どもへの虐待が大きな社会問題になっています。  
 虐待は子どもの心身に重大な影響を及ぼし、中には死に至るような深刻なケースもあり、緊急かつ適切な対応が必要です。

## 身体的虐待

身体に危害を加える行為。  
 なぐる、ける、やけどをさせる、こがし、だ、戸外に締め出すなど。

## 心理的虐待

言葉によるおどし、脅迫、無視、きょうだい間の差別的な扱い、子どもの前でDVが行われるなど。

## ネグレクト（保護の怠慢・拒否）

家に閉じ込める、病院に連れて行かない、食事を与えない、不潔なままにする、置き去りにするなど。

## 性的虐待

子どもへの性的行為の強要、子どもをポルノグラフィの被写体にするなど。



また、保護者の「孤独」や「不安」は、虐待につながる場合があります。  
 子どもへの虐待は、子どもの心だけでなく、保護者の心も深く傷つけます。  
 一人でかかえ込まずに相談しましょう。

子どもの虐待に対して、発生の予防から早期発見・対応、子どもの保護・支援に至るまで、関係者の連携が不可欠です。このため、児童相談所・市町村・関係機関では情報を共有し、管理を徹底しながら連携して対応しています。

### ①発生の予防

虐待に至る前に、気になる段階で適切な支援が必要

### ②早期発見・早期対応

虐待が深刻化する前の早期発見・早期対応が必要

### ③子どもの保護・支援、保護者の支援

子どもの安全を守るための適切な一時保護が必要  
 親子再統合に向けた保護者への支援が必要  
 社会的養護体制（質・量）の拡充が必要

## オレンジリボン

子ども虐待防止のシンボルマークです。  
 オレンジ色は、子どもたちの明るい未来を表しています。

